

令和7年度
北辰大学 第3回学習会
☆ 事業報告 ☆

日 時 令和7年7月9日(水) 10:00～

場 所 五所川原市中央公民館 大ホール

参加人数 93人

演 題 「大雨・洪水から身を守るために」

講 師 青森地方気象台 次長 三上 康治 氏

第3回の学習会は、青森地方気象台より、三上 康治 次長をお招きして開催しました。本講義の4日前にも市浦で大雨による避難指示が出されるなど、身近な話題でもある「大雨・洪水」について講義していただきましたので、ごく一部ですが、内容をご紹介します。

- 気候の変化はすでに現れていること。 ●気温は上昇し続けていること。
- 以前と比較して、雨の降り方が極端になっており、大雨のリスクが上がっていること。
- こういった状況に適応するため、最新の防災気象情報の利用が重要であること。
- 避難行動の目安となる「警戒レベル」は1～5 までであるが、レベル5（緊急安全確保）になった場合、もはや避難することが困難となるため、レベル3～4のうちに早めに避難して身の安全を確保することがとても重要である。

- いざというときのために、避難ルートの確認をしておくことが大事であること。

⇒最寄りの避難場所、避難経路がふさがった場合の迂回路、過去に災害があった場所 等

- 気象災害のリスクは上昇し続けており、「前回は大丈夫だったから」は通用しない。

この他にも、どうして気温が上がると極端な雨の降り方になるのかという解説など有益なお話をたくさんしていただきました。

【学習会の様子】

